

仕様書

1 機器の条件

- (1) 環境省が作成した「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和4年2月)」の「判断の基準」に基づいた調達を実施すること。
- (2) 商品購入時に過大な音や音声を発しないこと。
- (3) 千円紙幣及び新500円硬貨が使用できること。令和6年に発行が予定されている新紙幣への対応が可能となる機能を順次搭載すること。
- (4) 大型コイン一括投入口、商品選択ボタン、大型取出口など、ユニバーサルデザインに配慮した機器とすること。
- (5) キャッシュレス決済に対応した自動販売機であること。
※ キャッシュレス決済は、交通系ICカード(Suica、PASMO)を必須とし、その他の電子マネー決済についても積極的に検討すること。

2 販売条件

- (1) 飲料(容器は缶又はペットボトルのものに限る。)を販売するものとし、酒類及びたばこは販売しないこと。
- (2) 販売商品の品目は当該県有施設の財産管理者と協議すること。
- (3) 標準販売価格(定価)より20円引とすること。
- (4) 自動販売機は、エネルギー消費効率が750kWh以下のものであること。
- (5) 自動販売機は、災害支援型自動販売機とすること。

3 安全対策に係る条件

- (1) 自動販売機を設置する際は、据付面を十分に確認した上で安全に設置すること。据え付ける場合は、日本産業規格(JIS)の据付基準又は清涼飲料自販機協議会作成の自動販売機据付規準を遵守し、転倒防止措置を講じること。
- (2) 衛生管理及び感染症対策は、関係法令等を遵守するとともに、徹底を図ること。また、商品販売に必要な営業許可を受け、遅滞なく当該県有施設の財産管理者にその許可証を明示すること。
- (3) 偽造通貨又は偽造紙幣の使用による犯罪の防止に努めるとともに、また、屋内設置であっても一般社団法人日本自動販売システム機械工業会作成の自販機堅牢化基準を遵守し、犯罪防止に努めること。

4 自動販売機の設置及び管理運営

- (1) 商品補充、金銭管理など自動販売機の維持管理を適切に行うこと。
- (2) 商品補充等の作業は、当該施設の執務時間内に行うこと。
- (3) 商品の賞味期限及び消費期限に注意すること。
- (4) 自動販売機の故障、問合せ及び苦情については、設置者の責任において対応し、連絡先を自動販売機の見やすい位置に明示すること。
- (5) 自動販売機に併設して、回収ボックス等を設置し、設置者の責任で適切に回収、リサイクル、周辺の清掃を行うこと。なお、販売品目に合わせて利用者が缶、ペットボトル(剥離後のラベルを含む)、ペットボトルのキャップの3種類の分別ができるよ

うにすること。

また、使用済み容器があふれまたは周囲に散乱することがないように、また、在庫切れやつり銭切れがないよう注意すること。

- (6) 自動販売機設置に伴う事故については、県の責に帰する事由による場合を除き、設置者がその責を負うこと。
- (7) 商品等の盗難及び破損について、県の責に帰することが明らかな場合を除き、県はその責を負わない。
- (8) 設置者は、商品及び自動販売機が汚損又は毀損したときは、自らの負担により速やかに復旧すること。
- (9) 自動販売機及び回収ボックスの設置、維持管理及び撤去、新紙幣への対応に係る費用は、設置者が負担すること。
- (10) 設置者は、落札した貸付料とは別途に、光熱水費等を負担すること。この場合、設置者は子メーター（計量法第16条により、検定証印又は基準適合証印が付されているものであって、この有効期限を経過していないもの）を設置すること。

なお、次の施設の設置場所には別途、配線等の工事を行うこと。

施設名	設置場所	条件
三崎漁港本港特別泊地	交流広場内	配線等の電気工事が必要になります。 (別記特記仕様書のとおり)
かながわ農業アカデミー	旧豚舎横	設置場所は旧豚舎横の屋外となりますが、旧豚舎内に電源コンセントがあります。電源をとるケーブルを通すため、旧豚舎の壁を貫通する穴を開けることは可能です。その場合、自動販売機から電源コンセントまでの距離は約7m以内です。(別記案内図、配置図、写真のとおり)

- (11) 自動販売機の設置管理、故障時の対応、商品の補充、売上代金の回収等の一部を他者に行わせようとする場合は、自動販売機の管理関係等に関する届出書を県に提出すること。

5 売上状況等の報告

本件賃貸借に係る自販機の売上状況について、毎年4月30日までに前年度の各月の売上数量及び売上金額を当該県有施設の財産管理者あてに報告すること。

ただし、前記報告以外に随時に、前月までの売上について県が問い合わせた場合には、その都度速やかに回答すること。

6 回収物のリサイクルフローの報告

回収物のリサイクル状況について、自動販売機の設置後速やかにリサイクルフローを当

該県有施設の財産管理者に報告すること。また、設置期間中に当該リサイクルフローが変更となる場合は、変更後のリサイクルフローを速やかに報告すること。（別添参照）
回収したペットボトル本体は、ペットボトル原料としてのリサイクルに努めること。

7 その他

- (1) 自動販売機設置前に、設置しようとする機器（回収ボックスを含む。）のカタログ及び配置図を提出すること。
- (2) 契約の解除等により自動販売機を撤去する場合は、原状に回復して当該県有施設の財産管理者の確認を受けなければならない。
- (3) 設置場所施設に係る工事や設備点検等、県の都合により、一定期間自動販売機の利用が制限される場合がある。
- (4) 契約期間内に、県が施設（建物）に水道直結で常温の水が出る給水器を設置する場合があります。
- (5) この仕様書及び契約書に定める事項の他に協議すべき事項が生じた場合は、その都度設置者と県とで協議の上、定めるものとする。

回収容器のリサイクルフロー

1 フローの内容

フローは任意様式とし、次の①から④の内容を含むこと。

① 回収物の種類

例 スチール缶、アルミ缶、ペットボトル

② 回収物の処理（運搬及び処分）を委託する場合は、委託先の名称、住所等

例 収集運搬業者 (株)〇〇 〇〇県〇〇市〇〇町〇ー〇

中間処理事業者 (株)×× ××県××市××町×ー×

③ ②以外で、回収物のリサイクル工程で処理を行う各事業者の名称、住所等

例 2次処理業者 (株)□□ □□県□□市□□町□ー□

3次処理業者 (株)△△ △△県△△市△△町△ー△

④ 回収物の再生利用用途

例 スチール缶 → スチール缶原料等

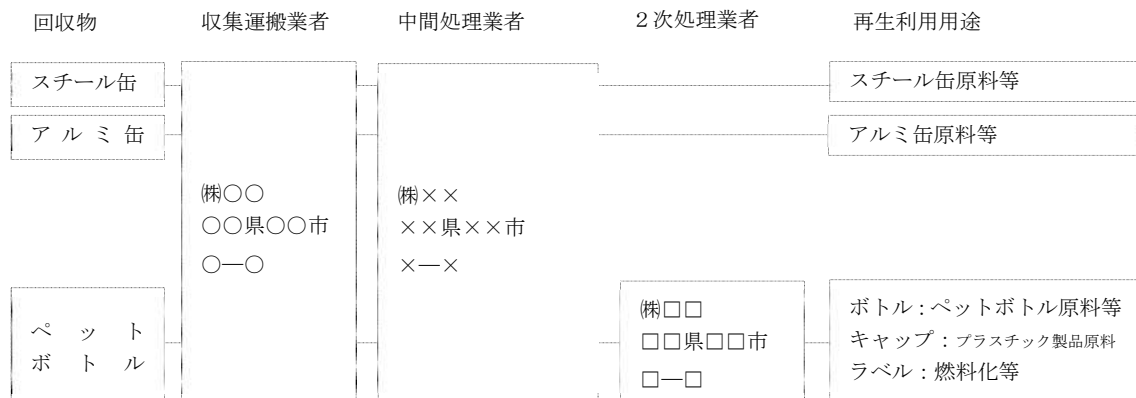
アルミ缶 → アルミ缶原料等

ペットボトル → ボトル：ペットボトル原料等

キャップ：プラスチック製品原料等

ラベル：燃料化等

2 フローの記載例



別記

三崎漁港本港特別泊地における自動販売機電源設置工事に係る特記仕様書

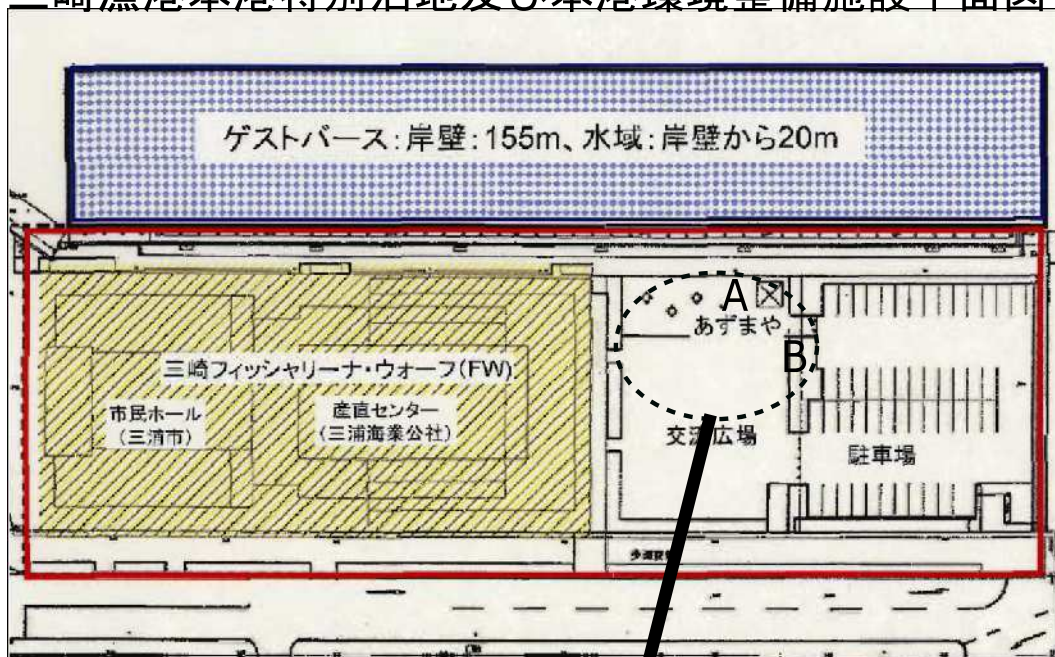
設置者は、自動販売機の設置に必要な電気工事を、下記に定める施工内容に基づき施工する。貸付期間満了後は、県が認める場合を除き、原状回復の上撤去する。

記

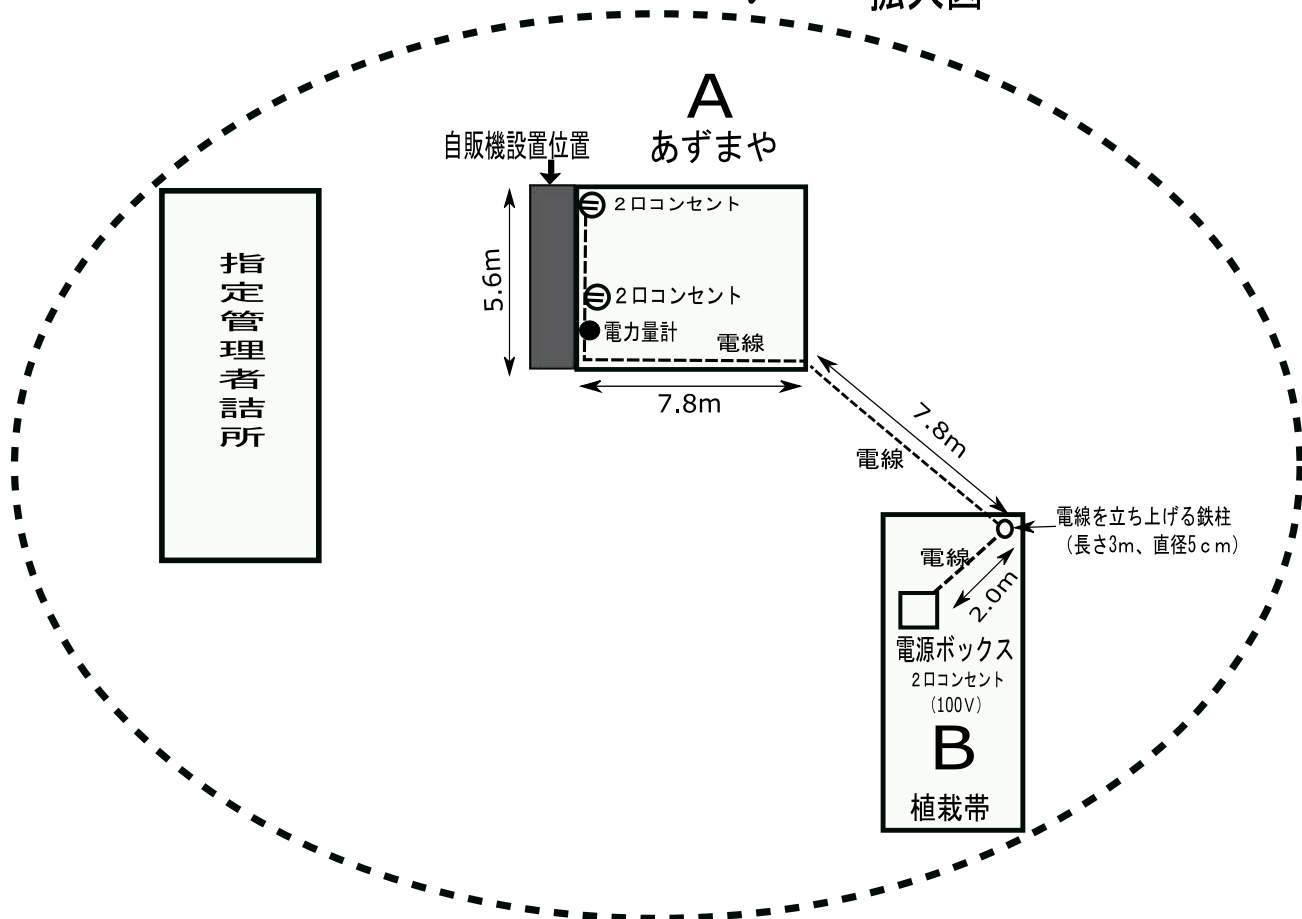
- 1 次の区分により行うものとする他、関係法令に従い施工すること。
- 2 既設電源ボックスより電源をとり、自動販売機の2口コンセント（自動販売機の電気使用量に応じたもの）2口、電力量計（子メーター、J I S規格に適合したもので正規の検定を受けたもの）を増設すること（別図参照）。
なお、漏電遮断器、ブレーカーは、電気関係法令上必要に応じて設置すること。
- 3 配線経路、コンセント、電力量計（子メーター）は、別図に示す箇所に設置すること。
- 4 ブレーカー、コンセント、電力量計には、防雨対策を講じて設置すること。
- 5 工事完了時に電気保安委託法人の検査を受けること。
- 6 施工にあたり発生した廃棄物は、全ての設置者の責任において関係法令に従い適正な処分を行うこと。
- 7 本工事施工に際しては、既存物等を毀損しないように注意し、毀損を及ぼした時はこれを復旧修理又は補償するものとする。
- 8 工事中に発生した事故等は、一切設置者の責任において解決するものとする。
- 9 本設置場所は三崎漁港本港特別泊地内にあることから、工事の詳細については、県の施設担当者及び指定管理施設管理者と打ち合わせを行いその指示に従うこと。

なお、本件設置場所には、令和5年3月31日まで自動販売機2台が設置されており、従前の設置者が施工した電気設備があるため、従前の設置者の了承が得られれば、その電気設備を引き続き利用することができるものとするが、同設備が毀損した場合の補修工事や設備の設置及び更新等が必要な場合は、上述の施工内容に基づき設置者の負担で施工すること。また、従前の電気設備の不備等があっても、設置者はその補修や費用負担を県に求めることはできない。

三崎漁港本港特別泊地及び本港環境整備施設平面図



拡大図



自動販売機設置位置

かながわ農業アカデミー旧豚舎横写真

